



# 担い手通信



JA bank Mitc

Topic

今月の話題

## ご飯もう一口、国産豆腐は月に2丁… プラス 11ポトイ作戦始動 食料自給率38%にダウン 日々の食卓ちよつと工夫を

① 飯を1日もう一口、国産豆腐を月に2丁——。食料自給率を1ポイント上げるために必要な国民の食事量の一例です。2016年度の食料自給率(カロリーベース)は38%と、先進国の中で最低水準にまで落ち込みました。自給率向上へ、誰でも簡単にできる「1ポイント上げる」ためのちよつとした工夫を紹介します。

農水省が提示する食料自給率を1ポイント向上させる方策によると、全国民が、ご飯を1日にもう一口(17g)食べるだけで1ポイント自給率が向上します。「国産米粉パンを月に6枚(400g)食べ

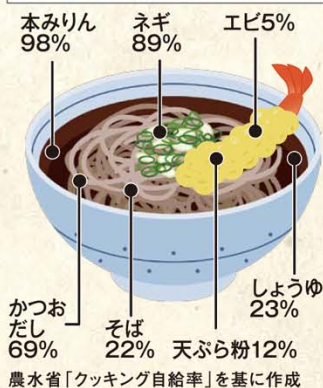
る」「国産大豆100%の豆腐を月に2丁食べる」「国産小麦100%のうどんを月に2玉食べる」などでも向上します。これら全てを実現できれば、4ポイント向上する計算です。日常の食事を増やすの

② ではなく、国産の農産物を選ぶことで自給率が上がります。

原料の輸入割合が高いそばやうどんでは自給率は下がり、「エビの天ぷらそば」は24%まで低下します。本みりん(98%)、かつおだし(69%)などだしの自給率が高いのですが、しょうゆ(23%)、エビ(5%)などの低さが自給率を下げる要因です。しかし、そば粉を100%国産にすれば、天ぷらそばの自給率は71%まで上昇します。最近ではラーメン用やちゃんぽん用、パスタ用など小麦の品種開発が進んでおり、こうした品種が広がれば自給率向上に貢献しそうです。

農水省は自給率への意識を高めてもらおうと、インターネット上で、料理の自給

一般的な天ぷらそばの自給率



### 数字でみえる 三重県の農と食

5万9900 畧

県内の農と食に関する統計データを用い、農業の現状を数字から読み解きます。

### 三重県の耕地面積

東海農政局の「東海3県の耕地面積(平成28年)」によると、三重県の耕地面積は平成28年時点で5万9900畧。内訳は田が75%、畑(普通畑、樹園地、牧草地)が25%です。田の割合が北海道を除く都府県の平均の66%と比べても高く、稲が重要な農産物になっています。北海道を除く都府県の耕地面積順位は22位です。

率を計算するソフトを公開。ハンバーグ(14%)、ねぎとろ井(82%)といったメニューや、家庭で作る料理の食材を選んで入力すれば、食料自給率を算出できます。16年度は国民1人が1日当たり242.9kgを摂取しており、このうち国産食材からの摂取は91.3kgにとどまっています。

このコーナーは、三重県農業研究所の「研究成果情報」に基づき制作し、県内に広く研究成果を紹介しています。

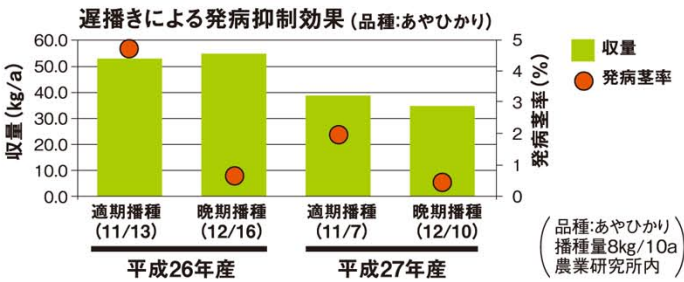
# コムギ黒節病の総合的防除技術

三重県農業研究所は、金属銀水和剤による種子消毒と1カ月程度の播種を遅らせる耕種防除、低コストの保菌状況調査を組み合わせたコムギ黒節病の総合的防除の有効性を確認しました。

種子伝染性細菌病であるコムギ黒節病は供給種子の汚染による被害拡大が懸念されています。

発病抑制には金属銀水和剤での種子消毒が有効です。種子重量0.5%と1.0%の湿粉衣処理、20倍液の10分間浸透処理の全てで発病抑制に効果があり、被害も見られませんでした。また、遅播きで適期播種と同水準の収量を保ちながら、発病を抑制できた

安定になる可能性があります。保菌粒率調査には、96穴のマルチウエルプレートで作成した種子の浸水液を菌選択培地に移植することで、従来より簡単な保菌の判断ができました。試薬量も低減するため低コストで、同研究所では種子健全度のモニタリングへの活用が期待できるとしています。これらの試験研究は農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業(25063)により取り組みました。



お問い合わせ先 三重県農業研究所 農産研究課 ☎0598-42-6359

## 名張市

### 伊賀のブドウ品評会と即売PR

伊賀園芸振興協議会は8月下旬、「伊賀地域のブドウ品評会&PRイベント」を名張市のイオン名張店で開いた。当日は、品評会で受賞したブドウを含めた即売会や各種イベントを行い、伊賀地域のブドウを来店者へPRした。伊賀地域は、78戸が約43ヘクタールでブドウを栽培する。品評会には32戸が「巨峰」、伊賀乙女(品種「安芸クイーン」)、「シャインマスカット」など11品種計42点を出品。生育初期の低温で発芽が5日程度遅れたが実どまりが良く、高品質に仕上がった。

(2017/9/6 ワイド2東海)

## JA伊賀南部

### 田んぼの生きもの春との違い発見

JA伊賀南部とJA全農みえは9月上旬、名張市立薦原小学校で「田んぼの生きもの調査」を行い、5年生23人が参加した。同校は6月にも生きもの調査を行っており、稲刈り体験学習と合わせて2度目の調査となった。子どもたちは収穫前の水を抜いてある田んぼに入り、実った稲をかき分けて探索。水を張っていた春の調査とは違う生きものを発見しては捕まえた。今回はカエル、バッタ、クモ、トンボなどを発見した。

(2017/9/12 ワイド2東海)

## JA全農みえ

### 日米学生に魅力PR 会議で提供

JA全農みえはこのほど、桑名市で「第69回日米学生会議」の参加者67人に、県産コシヒカリや伊勢茶、松阪牛しぐれ煮を贈呈した。同会議は、日米の大学生らが1年ごとに日本と米国の各地を約1カ月かけて巡りながら、社会問題や文化などをテーマに議論し、交流を深めるもの。伊勢茶も振る舞い、日米の学生相手に三重県の豊かな食の魅力とおいしさをPRした。

(2017/8/24 ワイド2東海)

### 短期の運転資金が必要になった方に

今ならJAバンク利子補給制度により最大年1%の利子補給が受けられます。

# スーパーS資金

農業経営改善促進資金

認定農業者向けの  
低利・便利な短期運転資金です

- 家畜等の購入資金
- 種苗代・肥料代・雇用労賃などに
- 農舎・畜舎の補修農業機械の修繕費



詳しくは、お近くのJAバンク窓口までお問い合わせください。  
<http://www.jamie.or.jp/jabanking/agri/>

平成29年9月現在



## 【金利情報】平成29年9月21日現在

### 農業近代化資金

実質金利  
年0%~0.30%  
(固定金利)

※認定農業者の方は、市町や(公財)農林水産長期金融協会の利子補給等により、お借入ができます。

### スーパーS資金

年1.5%  
(変動金利)